

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。登園に際しては、以下の配慮をお願いいたします。

- ①園内での感染症の集団発生や流行につながらないこと
- ②子どもの健康(身体)状態が保育園での集団生活に適応できる状態に回復していること

## 1. 医師が記入した「登園許可証明書」が必要な感染症

病名	感染期間	登園のめやす
インフルエンザ	発熱1日前から後3日が最も多く、通常7日目頃まで	発症した日の翌日から5日を経過し、かつ、解熱した日の翌日から3日を経過してから
百日咳	抗菌薬を服薬しない場合、咳出現後4週目頃まで。	特有の咳が消失してから又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了してから
麻疹(はしか)	発熱1~2日前から発疹出現4日目頃まで	解熱した後3日を経過してから
流行性耳下腺炎(おたふく)	発症1~2日前から耳下腺腫脹後5日後まで	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現したのち5日を経過し、かつ、全身状態が良好になってから
風疹(三日ばしか)	発しん出現の7日前から後7日目頃まで	発疹が消失してから
水痘(水ぼうそう)	発しん出現1~2日前から痂皮形成まで	全ての発疹がかさぶたになってから
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱・充血など症状が出現した数日間。 (その後、数か月続くこともある)	主要症状が消退した後2日を経過してから
結核	痰の検査で陽性の間	医師が感染のおそれがないと認めてから
髄膜炎菌性髄膜炎	治療を開始して24時間経過するまで	同 上
腸管出血性大腸菌感染症(O157等)	便中に菌が排出されている間	同 上
流行性角結膜炎	充血・眼脂など症状が出現した数日間 (便から数週間ウイルスが排泄されることもある)	同 上

## 2. 医師の診断を受け、保護者が記入する「登園届」が必要な感染症

病名	感染期間	登園の目安
手足口病	呼吸器から1~2週間、便から数週~数か月間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事が取れ全身状態が安定していること
伝染性紅斑(りんご病)	かぜ様症状が出現した時	全身状態が良好であること
感染性胃腸炎(ロタウイルス、ノロウイルス等)	嘔吐・下痢など症状のある間 (便から数週間ウイルスを排泄されることもある)	嘔吐、下痢の症状が治まり、普段の食事が取れ全身状態が良好であること
ヘルパンギーナ(夏かぜ)	呼吸器から1~2週間、便から数週~数か月間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事が取れ全身状態が安定していること
RSウイルス感染症	3~8日だが、乳幼児では3~4週間となることもある	呼吸器症状が消失し全身状態が良好であること
マイコプラズマ肺炎	咳、発熱など症状のある間	症状が改善し、全身状態が良好であること
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24時間以上経過していること

### 《感染症の予防のために》

1. 手洗い・うがいをしっかりしましょう。
2. 基本的な、生活習慣を守りましょう。
3. できるだけ、人ゴミに近づかないようにしましょう。

